



歌・唄・詩



福島 鏡

俺

胸が引きちぎれたあの日
バカヤローと叫んだあの曇り空
「あなた好きよ」と言った女は
「私にはむかし契ったひとが居るの」
と冷めた顔をして 背を向けて行った
青くて真っ直ぐで ウソを言えない俺がいた

寂しくて飛び込んだスナック
「どうしたの」と微笑むやさしい言葉
「何を飲むの」と聞いた女は
「男なら大きな 大きな夢を持て」
と熱い言葉で背中をたたいた
素直にうれしくて 女にうぶな俺がいた

負けて地に倒れたあの日
暗がりの雨の向こうに灯りを見た
女が傘を差してくれた
「あなたと この道をどこまでも行くわ」
と愛を語る女が一人いた
あすに向って立ち上がる不屈の俺がいる

日本人

何もない 辛い日がある
賭ける夢もない 語る夢もない
賭ける愛もない 語る愛もない
賭ける明日もない 語る明日もない
どうしちまったんだ日本人 何処へ行ちまった日本人

何もない からの家がある
笑う人もいない 怒る人もいない
笑う親もいない 怒る親もいない
笑う子供もいない 遊ぶ子供もいない
どうしちまったんだ日本人 何処へ行ちまった日本人

自分を知らない日本人がいる
あなたは日本人 日本語がある
あなたは日本人 思い遣りがある
あなたは日本人 心の人なのだ
働き者だった日本人 奇跡の国の日本人
どうしちまったんだ日本人 何処へ行ちまった日本人

朝日

悲しみは涙を連れてやってくる
離れていった愛が心によみがえる
別れた昔の友達が浮かんでくる
街角に風が流れて行く
そらに雲が流れて行く
やがて朝日が昇ってくる

苦しみはうめきを連れてやってくる
打ちのめされたあの日がよみがえってくる
俺の背中をぶん殴った奴が笑っている
山すそに風が流れて行く
闇に夜が流れて行く
やがて朝日が昇ってくる

チャレンジは勇気を連れてやってくる
怯まぬ心 優しい心が 愛に
挫折した昨日 戦う今日が 明日に
生きる者に風が吹いてくる
愛する者に朝がくる
やがて朝日が昇ってくる

満員電車

仕事は山積み 上司は怒る
失敗たびたび 目標は遠い
青二才 人見知り 彼女なし
やけに虚しい夕暮れ過ぎて行く
今日も乗り込む満員電車

疲れた男と虚ろな女
夢追う者と夢にすぎる者
沢山の中に男が一人
沢山の中に女が一人
今日も乗り込む満員電車

どしゃぶりの雨 あられ つむじ風
明けた朝の青空 日本晴れ
悔し涙 苦し紛れの酒
明けた朝の二日酔い 憂さ晴れて
今日も乗り込む満員電車

津波の詩

津波が来た

家よりも高い大波が防波堤を乗り越えてきた
人も家も車も船も全部のみ込んだ
津波は何もかもさらって海へもどっていった

津波が狂った

津波は港を村を街をもぎ取り
命を奪い心に深い傷と悲しみを残し
希望と明日も打ち砕いた

津波は去った

失った命が残った命を救った
亡くなった命が守ってくれた今日の命
命に宿る強い心と優しい心を見つけた

津波は消えた

朝日が昇り涙が乾き美しい日本が見えるとき
我々（日本人）は明日へ向って生きていく
そうだ我々は日本人なのだ
我々は世界に希望と愛を灯す

旅の途中（なか）

生まれた時が旅の始まり
生まれた時に住んだ家が最初の旅の宿
生まれた時に世話してくれたのが母と父
生まれた時に会った友達が兄弟姉妹
生まれた時に見た景色が故郷
あーボクも私も旅の途中（なか）

大雨に降られる旅もある
暑さに飢え渴き 寒さに震える旅もある
歩いても オアシスもない砂漠の旅もある
心が見えぬ街もある 宿のない村もある
人間は自分を探して旅にでる
あーボクも私も旅の途中（なか）

何を見て 何をしてきたのか
人を知り 心に触れ 愛に涙したことも
行き止まり 回り道 休んで又旅にでる
歩いて 歩いて自分の家を探して行く
今日も自分の住家をさがす
あーボクも私も旅の途中（なか）

君へ

君が苦しくても 人は君の苦しみがわからない
君が悲しくても 人は君の悲しみがわからない
君が挫折しても だれも君を振り返らない
君が失望しても だれも君を振り返らない
それは 君には君の道があるからさ

君が嬉しくても 人は君の嬉しさに気づかない
君が優しくても 人は君の優しさに気づかない
君が強くなっても だれも君を振り返らない
君が失敗しても だれも君を振り返らない
それは 君には君の道があるからさ

苦しくてもあきらめることはないさ 人は皆同じ
挫折してもあきらめることはないさ 人は皆同じ
友達は見ているさ 君の苦しさ悲しみを
友達知っているさ 君の逞しさ優しさ
しかし 君には君の道があるだけさ
それは ボクにはボクの道があるからさ

絶望の淵

絶望の淵に立ったとき

絶対に絶望の要求に応じるな 絶望の要求は死である
夢を見るとき 絶望の要求に陥ると 死の夢が訪れる
どんなに些細な夢でも明るい夢 明日へ続く夢を見よ
夢を見るときは 明るく強い願望をこめて夢を見よ
必ず明るくて楽しい夢が あなたの夢の中に開けてくる

夢

夢の中で あなたの望むものが夢になる
楽しさを望めば楽しさが 嬉しさを望めば嬉しさが
苦しみを望めば苦しみが 悲しみを望めば悲しみが
それが夢である 夢は願望である
人生の中で あなたが望むものが現実になる
墮落を望めば墮落が 挫折を望めば挫折が
幸せを望めば幸せが 成功を望めば成功が
それが夢である 夢は願望である
願望は情熱である 情熱が夢を実現する
弱い願望は砕けてしまう 強い願望は意志となる
強い意志は信念となる 信念は夢となる

願望

願望は素直な望みでありたい
願望は欲望であってはならない
願望が欲望であるとき 必ず挫折する
願望が素直な希望であるとき 必ず成就する

願望はだれもが持っている
願望に失望と悲しみを込めてはならない
なぜならば失望と悲しみを払いのけることができないからだ
願望には明るい希望と幸せな自分を込めなさい
なぜならばいつか明るい希望と幸せに包まれるからだ

願望は強くせよ
願望は弱いと砕けてしまう
願望が強ければ心のエネルギーとなる
願望が強ければ強いほど成就する

人は そのとき自分の顔を作る
自分を作った人の顔には その人が表れている
願望が人をつくる

後悔しない

今日が雨の日でも 今日が暑い日でも
今日が雪の日でも 今日が風の日でも
決して今日を後悔しない
だれも今日の天気を変えることは
できないのだから

今日が悲しくても 今日が苦しくても
今日が虚しくても 今日が辛くても
決して今日を後悔しない
だれも今日の自分を変えることは
できないのだから

夜のあと朝が来る 雨のあと晴れ間が
冬のあとに春が 生まれて死んでゆく
決して今日を後悔しない
だれも明日の自分を変えることは
できないのだから
だから今日の自分を後悔しない
自分を真っ直ぐに生きるために